

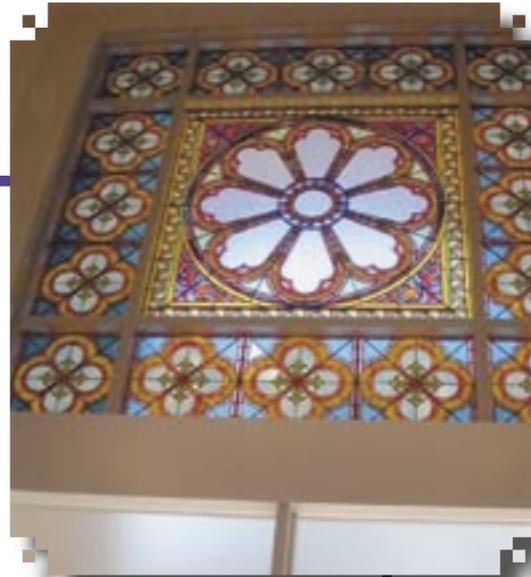
（「炎の塔」が完成、
風格たたえて）



創立125周年記念事業の1つとして建設中だった多摩学生研究棟「炎の塔」が7月完成し、8月から使用がはじまった。多摩キャンパス7号館裏の小高い敷地に、風格のある地上3階、地下1階建て。国家試験をめざす人材が集い学ぶ、新しいシンボリックな研究棟になる。



（如是閑も仰いだ
ステンドグラス）



駿河台校舎の旧図書館（昭和5年竣工）の天窓にあった見事なステンドグラスが、「炎の塔」正面3階の高さに。縦横2.57メートル。内側からみあげると、さらに光彩あざやかだ（写真上）。歴史をまたいで、ふとイメージする。たとえば、本学（東京法学院）出身の大ジャーナリスト、長谷川如是閑（明治8年～昭和44年）もこのステンドグラスを仰ぎ見たにちがいない……などと。

晴天の下の「炎の塔」竣工式
(02年7月15日)



式典は神式によりおごそかに執り行われた。



定礎式にのぞむ阿部三郎理事長（写真右）と鈴木康司学長（同・左）



式後のパーティーで「炎のような情熱をもって勉学を」と挨拶する阿部理事長

（グリーンテラス、後楽園キャンパス新棟も建設進む）



「グリーンテラス」の建設も急ピッチ。来年早々には、多摩モノレールから水平通路で多摩キャンパスへ。



後楽園キャンパス新棟（仮称）の建設も順調に進んでいる。東京ドーム球場が左に。

ダイナミックに進化を続けています。

◎学生のキャンパス生活と課外活動の充実

【総額31億円 寄付5億円】

多摩学生生活関連棟建設

- ①学生のキャンパス生活の一層の充実
- ②学生の学術・文化・スポーツ課外活動の充実強化

◎国家試験に強い本学の伝統の更なる発展

【総額17億円 寄付11億円】

多摩学生研究棟「炎の塔」建設（前ページグラビア写真参照）

- ①法職講座の充実と法曹を目指す学生のための特別な勉強環境の整備
- ②会計士講座の拡充と会計士を目指す学生のための特別な勉強環境の整備
- ③公務員講座の拡充と国家・地方公務員試験に挑戦する学生のための特別な勉強環境の整備

◎文系学部・大学院の教育研究体制の一層の充実

多摩キャンパス教育研究棟建設

【総額36億円 寄付10億円】

学部ゼミの強化、学生の学術・文化・スポーツ活動の充実

【総額23億円 寄付22億円】

- ①学部少人数教育体制の強化とその環境整備
- ②学部・大学院の情報環境整備の推進
- ③国際交流の推進・拡充
- ④学部生・大学院生に対する経済援助、奨学金の拡充
- ⑤学生の学術・文化・スポーツ活動に対する奨励金の拡充

◎社会に開かれた大学の一層の充実

多摩キャンパス駅前「グリーンテラス（仮称）」・「21世紀館（仮称）」建設

【総額35億円 寄付13億円】

- ①本学の歴史と各界学員の活躍を展示する「中大歴史館（仮称）」の設置

- ②産官学一体となって、学生のキャリアアップを図る「キャリアセンター」の設置

- ③大学の知的資産の社会への開放拠点となる「エクステンションセンター」の設置

- ④国際交流の拠点「インターナショナルセンター」の設置

- ⑤社会人教育の一層の充実発展を図る通信教育施設の充実

◎学部周年事業

【総額4億円 寄付3億円】

- ①法学部125周年（2010年）
- ②経済学部100周年（2005年）
- ③商学部100周年（2009年）
- ④文学部50周年（2001年）
- ⑤総合政策学部15周年（2008年）

来年3月完成予定

後楽園キャンパス新棟（地上14階・地下2階）

- ①理工学部・大学院・中央大学高等学校の教育研究がより一層充実します。
- ②世界レベルの研究交流を推進し、大学全体の都心展開が飛躍的に活発化します。
- ③21世紀の科学技術の発展に貢献できる人材を育成します。

多摩学生生活関連棟

- ①学生のキャンパス生活が一層充実します。
- ②課外活動の拠点として、学生の学術・文化・スポーツ活動が充実強化されます。

多摩キャンパス駅前「グリーンテラス（仮称）」

- ①産官学一体となって、学生のキャリアアップを図る「キャリアセンター」を設けます。
- ②大学の知的資産の社会への開放拠点となる「エクステンションセンター」を設けます。



多摩学生生活関連棟



後楽園キャンパス新棟（仮称）



グリーンテラス（仮称）

ご支援ご協力ありがとうございます。